

横浜工場 / 環境レポート 2004

事業概要：自動車用エンジン・アクスル製造

所在地：神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地

稼働開始：1935年7月

従業員数：約4,000名

ISO14001取得時期：1998年7月

環境スローガン：地球環境を守り、地域と調和した
環境にやさしい工場を造ろう。



横浜工場長
酒井 寿治

酒井 寿治

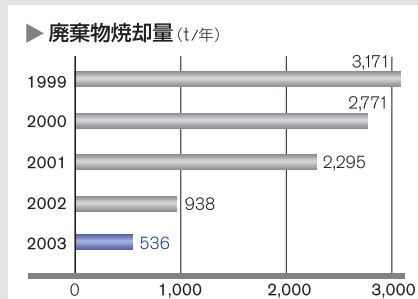


横浜工場

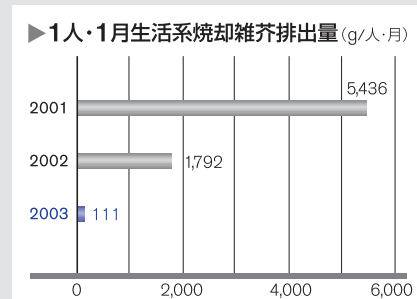
2003年度の主な活動実績

廃棄物ゼロエミッション活動

2001年からゼロエミッション活動を開始し、現在、直接埋立て『ゼロ』を3年連続で達成しています。さらなるリサイクルを推進し、廃棄物焼却量の削減に努めています。



2003年から社員全員が究極のゴミ分別（生活系焼却雑芥）を実施して『1人・1月100g活動』に取り組んでいます。2003年下期現在で1人1月当りの排出量は111g。あと1歩で目標達成です。これからもゼロエミッション活動を推進して行きます。



省エネルギー活動

各部署間の連携によるプロジェクト活動を通じて、下記の取り組みを行いました。

- ①工場稼働時間分散により、最大使用電力の削減を実施
- ②昼休み、休憩・シフト時間等、非稼働時間帯によるエネルギー使用量削減
- ③全社横断的に省エネルギー推進を目指す特別チーム「NESCO」との協力による省エネテクニカルアイテムの発掘と実施
- ④省エネ体験イベント開催等、PR活動による従業員意識向上の推進

2003年度の目標と結果

目標名	目標値	結果	コメント
環境問題の未然防止	環境事故*ゼロ	○	定期的な環境測定の実施により、法規制値の遵守状況および工場内設備の運転状況を常に把握しています。
省エネルギー	削減熱量1,090億KJ/年	○	工場の全体活動および省エネプロジェクト活動等を通じて、エネルギー削減に大きな成果をあげました。
廃棄物ゼロエミッション	直接埋立て処分量 ゼロを継続	○	直接埋立て『ゼロ』を3年連続で達成すると共に、社員全員が『1人・1月100g活動』に参加し、ゼロエミッション活動に積極的に取り組んでいます。
有害化学物質 使用量の削減	使用薬品削減・事前確認 (非塩素化への取組み等)	○	製造工程の工夫・使用薬品の事前確認により、薬品使用量の削減並びに低負荷品の使用等に取り組んでいます。
地域社会との協調・共生	ゲストホール・ エンジン博物館の運営	○	ゲストホール開館から1周年を迎え、前年度比10倍のお客様にご来場いただきました。
	夏祭り・ 工場オープンデーの実施	○	地域との定例行事として毎年実施しています。
環境を大切に する企業風土の醸成	部長パトロールの 実施(1回/月)	○	環境事故の未然防止並びに工場全体の環境意識向上を目的に、毎月実施しています。

*環境事故：社外へ法規制を超えて流出する事故

地域とのコミュニケーション

ゲストホール1周年記念イベント

2003年4月のゲストホールオープンから1周年を迎え、この1年間で約2万人のお客さまにご来場いただきました。1周年記念イベントでは、ニスモの片山豊氏の記念講演を行うとともに、エンジン展示台数の増加や土曜日の開館などのリニューアルをしました。大勢の皆さまのご来場をお待ちしています。

開催日：2004年3月25日(木) 出席者：約150人



地域共生型工場賞を受賞

地域社会とのコミュニケーション(夏祭り・工場見学会等)や地域への情報公開(ゲストホールを中心とした工場見学の受入れ等)、地域拠点(電力削減活動・積極的なリサイクル活動)などの地域社会への貢献が認められ、神奈川県より地域共生型の工場として表彰いただきました。

開催日：2003年11月28日(金)



工場見学会

地域の皆さま、従業員の家族、日産OBの方々に、横浜工場や日産を知っていただく機会として、毎年「工場見学会」を開催しています。今回は、あいにくの雨の中にもかかわらず沢山の方にご来場いただきました。

開催日：2003年11月3日(月)

来場者数：約900人



環境データ

大気(大気汚染防止法、条例)

単位 NOx : ppm, ばいじん : g/m³N、
ダイオキシン類 : ng-TEQ/m³N

物質	設備	規制値	実績値
NOx	ボイラー	150	57
	乾燥炉	230	34
	ガスエンジン	300	29
	加熱炉	180	155
	溶解炉	180	43
ばいじん	ボイラー	0.05	0.002
	乾燥炉	0.1	0.006
	ガスエンジン	0.04	0.001
	加熱炉	0.1	0.033
	溶解炉	0.1	0.059
ダイオキシン類	アルミ溶解炉	5	0.32

実績値 2003年度測定値の最大値

排水水質(水質汚濁防止法、条例)

単位 記載がないものは : mg/L

項目 ^{*1}	規制値	実績値		
		最大値	最小値	平均値
pH (-)	5.8~8.6	7.6	6.8	7.2
COD総量 (Kg/d)	2地区	64.8	46.6	1.4
	3地区	92.1	79.1	0.6
	4地区	7	1.4	ND ^{*3}
SS ^{*2}	90	12	ND ^{*3}	3
油分 ^{*2}	5	1	ND ^{*3}	0.1
銅	3	0.13	ND ^{*3}	0.01
亜鉛	3	0.14	ND ^{*3}	0.07
フッ素	8	0.7	ND ^{*3}	0.3
溶解性鉄	10	0.5	ND ^{*3}	0.05
溶解性マンガン	1	0.8	ND ^{*3}	0.3
全窒素	30	25	1.9	6.4
全燐	8	0.4	ND ^{*3}	0.1
ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)	10	0.4	ND ^{*3}	0.1

※1. 記載項目以外の測定項目は、定量下限値以下を示す。※2. 法規制値よりも厳しい条例値。

※3. NDは定量下限値以下を表す。

PRTR対象物質

単位 : kg/年(但し、ダイオキシン類は、mg-TEQ/年)

物質番号	化学物質名	取扱量	大気	水域	廃棄物	自社埋立	リサイクル	化学変化	製品
1	亜鉛の水溶性化合物	313	0	1	0	40	0	0	272
16	2-アミノエタノール	39	0	14	0	0	0	25	0
40	エチルベンゼン	25,545	9	0	0	0	0	25,536	0
43	エチレンジクロール	313	0	0	0	313	0	0	0
63	キシレン	114,289	27	0	0	0	0	114,262	0
227	トルエン	179,007	592	0	0	0	0	178,415	0
230	鉛及びその化合物	1,119	0	0	56	0	0	0	1,063
232	ニッケル化合物	216	0	5	0	137	0	0	73
243	バリウム及びその化合物	402	0	0	402	0	0	0	0
272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	4,416	0	155	0	0	0	0	4,261
283	フッ化水素及びその化合物	5,760	691	0	0	0	5,069	0	0
299	ベンゼン	14,646	46	0	0	0	0	14,600	0
304	ホウ素及びその化合物	68	8	28	0	32	0	0	0
307	ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル	0	0	0	0	0	0	0	0
309	ポリ(オキシエチレン)＝ノニルフェニルエーテル	5,342	0	186	0	0	0	42	5,114
311	マンガン及びその化合物	3,581	0	0	0	0	0	0	3,581
346	モリブデン及びその化合物	82	0	0	0	0	82	0	0
179	ダイオキシン類	6	5.8	0.0018	0.0	0	0	0	0
合 計		355,138	1,373	389	458	522	5,151	332,880	14,364

※PRTR : 環境汚染物質排出移動登録(Pollution Release and Transfer Register) ※PRTR法に基づき、発ガン性物質(特定第一種指定化学物質)については含有率0.1%以上、その他は1%以上の原材料等を集計対象とし、発ガン性物質については年間取扱量500kg以上、その他は1t以上(2002年度は5t以上)の物質について自治体に報告しているが、本表にはそれ以外の物質についても記載している。(ダイオキシン類については全て記載) ※小数点第一位を四捨五入しているため、大気・水域・廃棄物・自社埋立・リサイクル・化学変化・製品を足し合わせたものが取扱量及び合計と合わないことがあります。

主要生産品目



QR25/QR20エンジン(プリメーラ他に搭載) VK45/VH45エンジン(シーマ他に搭載)

日産自動車株式会社

[お問合せ窓口]

横浜工場 総務部

TEL: 045-461-7304 FAX: 045-461-7478